

# Diagnostic Stewardship : DS 実践のピットフォール?

— 医師と臨床検査技師のキモチ —

座長



**忽那 賢志** 先生

大阪大学医学部附属病院 感染制御部 部長

演者



**清祐 麻紀子** 先生

九州大学病院 検査部

日時

2024年 2月9日 (金) 11:40 ~ 12:40

会場

第5会場 (パシフィコ横浜ノース 4F G403)

パシフィコ横浜 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-2

開催形式

**現地開催**

本ランチョンセミナーでは整理券の配布はございません。  
直接会場にお越しいただき、先着順にご入場いたします。  
なお、お弁当の数に限りがございますので、予めご了承ください。

本学総会・学術集会の参加にはオンライン参加登録が必要となります。

登録登録方法は、第35回日本臨床微生物学会総会・学術集会 WEB サイト  
(<https://www.c-linkage.co.jp/jscm2024/registration.html>) をご確認ください。



## Diagnostic Stewardship : DS 実践のピットフォール？ — 医師と臨床検査技師のキモチ —

演 者

**清祐 麻紀子** 先生 九州大学病院 検査部

抄 録

AMR 対策アクションプラン (2023-2027) が発表され、Antimicrobial Stewardship Team : AST としてさらなる抗菌薬適正使用や Diagnostic Stewardship : DS 活動の推進が求められている。DS の実践に必要な、検査前、検査、検査後プロセスの重要性に対する認識は広まりつつあるが、実際の DS 活動の中でピットフォールを感じることはないだろうか。コロナ禍で多くの施設に導入された全自動遺伝子検査機器は、十分に使いこなせているだろうか。微生物検査室では日々、スタッフの教育を行ないながら迅速・正確な検査に努めているが、検査室の独りよがりになっていないか？煩雑な業務から導き出した検査結果は本当に臨床の役にたっているのか？本セミナーでは、いくつかの事例を挙げながら、医師と臨床検査技師のキモチを確認してみたい。座長の忽那先生には医師の本音をコメントしていただく。本セミナーでは、日常遭遇する問題点や課題を挙げながら、最適な感染症診断・診療のために、お互いの思いがすれ違わない、本当に有用な DS 活動について考える機会としたい。

展示  
機器

会期中は以下の製品及びサービスの展示を予定しております。  
是非、弊社ブースにお立ち寄りくださいますようお願い申し上げます。



血液培養自動分析装置  
バクテアラート  
VIRTUO®



微生物分類同定分析装置  
バイテック®  
MS PRIME

展示テーマ  
「感染症トータルソリューションが導くスマートデータによる AS/DS」



全自動遺伝子解析装置  
FlimArray® Torch  
システム



全自動細菌同定感受性検査装置  
バイテック® 2 ブルー

販売名：バイテック 2 ブルー  
販売名：バイテック MS PRIME

医療機器製造販売届出番号：13B3X00212000002  
医療機器製造販売届出番号：13B3X00212000021

販売名：バクテアラート VIRTUO  
販売名：FlimArray Torchシステム

医療機器製造販売届出番号：13B3X00212000015  
医療機器製造販売届出番号：13B3X00212000016

お問い合わせ先  
バイオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 7 号 赤坂溜池タワー 2 階  
営業部 Tel : 03 - 6731 - 9000

[www.biomerieux.co.jp](http://www.biomerieux.co.jp)